

2026 年度 第 2 回 日本臨床検査医学会 臨床検査専門医・管理医審議会 議事録

日時：2026 年 9 月 14 日（月）11：00～12：00

開催方法：Zoom ミーティング

出欠：

【出席】（5 名）

柳原克紀（臨床検査専門医・管理医審議会 委員長）

金子 誠（試験委員会および日本専門医機構認定臨床検査専門医更新資格審査委員会 委員長）

越智小枝（臨床検査専門医認定試験実行委員会 委員長）

松下弘道（日本専門医機構認定臨床検査専門医研修プログラム認定委員会 委員長）

山田俊幸（日本臨床検査専門医会 代表委員）

【欠席】（1 名）

上原由紀（受験・更新資格審査委員会 委員長）

柳原克紀委員長より、2026 年度第 2 回日本臨床検査医学会 臨床検査専門医・管理医審議会開会宣言の後、議事を進行した。

1. 第 6 回日本専門医機構 認定 臨床検査専門医 認定試験 実行委員会報告

（柳原克紀 委員長、金子誠 試験委員会 委員長、越智小枝 試験実行委員会 委員長）

2026 年 8 月 9 日（日）、東京慈恵会医科大学医学部で第 6 回日本専門医機構 認定 臨床検査専門医 認定試験を実施した。8 月 12 日（水）に同認定試験の判定会議を東京慈恵会医科大学と Web のハイブリッドで開催した。

越智小枝試験実行委員長から、試験当日の問題点、画像プリントの画質、判定基準、特に正答率での問題の扱い、採点結果と合格基準（MCQ100 点・面接実技 100 点の合計で 60%以上）の報告があり、20 名中 17 名が合格、3 名が不合格という結果が共有され、承認された。

なお、次項について協議された。

回答率の低い問題、禁忌肢的な設問への慎重な扱いについて意見が出され、禁忌肢的な設問については臨床検査領域の幅が広く倫理的に問題ない限りは考える必要がないのではないか、また、回答率の低い問題については、その問題自体を削除したと説明があった。

大規模災害などで試験が予定通り実施できなかった場合の対応について議論した。他学会での対応を確認し、今後、試験委員会および試験実行委員会で適切な対応策を検討していただき、審議会、常任理事会、理事会に提案いただくこととなった。

試験問題の画質の悪さについては、日本臨床検査医学会事務局のコピー機での印刷を検討することとなった。

2. 次年度、専門医認定試験について（柳原克紀 審議会 委員長）

2026・2027 年度専門医試験実行委員長は、越智先生であるため、2027 年度の日本専門医機構認定臨床検査専門医認定試験の担当について引き続き担当いただけるよう依頼された。

2028・2029 年の専門医実行委員長候補について、早めに決定するのが望ましいとなり、次回委員会で検討することとなった。

3. その他（柳原克紀 委員長）

2026 年度第 3 回臨床検査専門医・管理医審議会開催日程が報告された。

第 3 回：9 月 30 日（水）、第 4 回：2027 年 2 月初旬開催となることを確認し、必要に応じて調整することとなった。

以上を持って、第 2 回臨床検査専門医・管理医審議会は閉会された。

2026 年度 第 1 回 日本臨床検査医学会 評議員資格審査委員会 議事録

2026 年度 第 1 回 日本臨床検査医学会 評議員資格審査委員会の開催が宣言され、議事を進行した。

1. 評議員（社員）再任予定者（2027/01/01 付）について（柳原克紀 委員長）

評議員再任は社員総会の承認が必要であり、1 月 1 日より任期開始となるため、2026 年 12 月下旬に開催予定の臨時社員総会で 2027 年 1 月 1 日付評議員再認定予定者 29 名の承認を得る必要がある。それに先立ち審議され、予定者 29 名について承認された。

ただし、今後、評議員は再任の申請をして、その申請結果を 2026 年 12 月下旬の評議員審査委員会で審査したうえで最終的に承認される予定であって、臨時社員総会で承認されたとしても、再任の単位を満たさない場合は退任となることで合意された。

第 2 回評議員資格審査委員会は、2026 年 12 月 17 日の臨時社員総会が終了し、評議員再任申請書類が揃ったからの開催となるため 12 月下旬となるが、後日、日程調整することとなった。

以上を持って、第 1 回評議員審査委員会は閉会された。